

# 3年連続 日本一



生徒3名が、プラチナの中でも上位の生徒に贈られる“特別表彰”を受賞  
左から順に窪田さん(3年)、岩下さん(3年)、及川さん(3年)と上原学校長

## 歴代最高ポイント 全国の農業高校生の頂点に

高校在学中に取得した資格や検定、農業クラブ活動を点数化して表彰する「アグリマイスター顕彰制度」。上から、60pt以上で「プラチナ」、45pt以上で「ゴールド」、30pt以上で「シルバー」と区分して認定される。全国農業高等学校長協会が主催しているが、窪田亜里沙さん(R5年度農ク会長)が、今年度最高・歴代最高点となる153ptを獲得し、全国の農業高校生の頂点に立った。最優秀生徒・理事長賞の受賞は、佐総としては3年連続の受賞。また、今年度は「プラチナ」4名、「ゴールド」3名、「シルバー」54名、計61名がアグリマイスターの認定を受け、学校としては2年ぶり2度目となる優良学校表彰も受賞した。

# 佐総農業クラブ新聞

農業クラブ会長  
佐藤陸翔

編集委員  
俣平流楓、栗林舞千花

信州ギョウNEW  
プロジェクト始動

県内で唯一「乳牛」を飼育している佐総。

近年の飼料や農業資材の高騰により大きな影響を受けている県内酪農家を応援するため、牛乳の消費が落ち込む冬場の需要を喚起しようと、2月10日、若里文化ホール(長野市)にて、食品加工部がオリジナルレシピ「ピノナルコールドミルクカクテル」の振る舞いを行った。また、2月22日には、「ゆうがたGET! (生中継)」に畜産部ウシ班が出演し、「搾乳対決」で番組を盛り上げた。



## 食品加工部 東京大学&国連大学で活動発表

食品加工部では、令和2年度から地元酒造で問題となっている廃棄酒粕の有効利用をテーマにしたプロジェクト活動に取り組んでいる。これまで取り組んできた研究活動や地域連携の成果をまとめ、10月の農業クラブ全国大会熊本大会での発表に続き、2月3・4日に国連大学を会場に開催された「第9回全国ユース環境活動発表大会」に中部地方代表として参加し、同大会で優秀賞を受賞。さらに、2月6日には東京大学を会場に開催された「脱炭素チャレンジカップ2024」にて、協賛企業・団体賞を受賞した。



## ラーメンで被災地支援

3月2日、能登半島地震の復興支援を目的に、佐久商工会議所青年部、麵匠佐蔵をはじめ、地域の企業・団体・生産者と協力して売上全額を義援金とする「チャリティーラーメン」の販売を行った。ラーメンの食材に、実習で生産した豚肉と鶏卵を無償提供。当日はボランティアとして農業クラブ員12名が参加し、調理・接客・募金活動に携わった。

